

# ようろう 議会だより



「ひよしコミュニティー・スクール 紙玉鉄砲 うまくできるかな」(日吉小学校)



5月

臨時会

6月

定例議会

ホームページ  
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

5月臨時会	2
6月定例会・本会議報告	3
常任委員会報告	4
こんなことが決まりました	5
町の考えを問う(9議員が一般質問)	6
あれから「防災対策」 はどうなったんやあ～	15
議会に対する意見(住民の声)	15
議会ニュース	16

2019.8.1

(令和元年)

No.145

145

号

ようろう議会だより

2019.8.1

発行/2019年8月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-3215084(直通) 編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機

## 議会ニュース

### おめでとうございます

5月21日、平成31年4月に養老町議会議員に当選され、その後6期24年の永きにわたり在職された中村辰夫氏が、旭日双光章の勲章を授与されました。



### おめでとうございます

5月3日、平成7年より4期にわたり在職された元養老町議員の高木教雄氏が、岐阜県表彰規定により各界功労者表彰を受賞されました。



### 一年間お疲れ様でした

第2回定例会(初日)において、大橋三男前議長のその功績に対し、議会より感謝状が贈呈されました。



### 「議員との意見交換会」 参加団体募集のお知らせ

議会改革特別委員会では、議員が各種団体の意見や課題などをお聞きし、今後の議会活動に活かしていくことを目的に意見交換会を実施しております。

今年度の参加団体を9月末日まで募集いたしますので、皆様のご応募をお待ちしております。詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。※団体は、10名以上の町民で構成されるものです。

### 9月に定例会が開会されます。ぜひ傍聴にお越しください。

(詳しい日程については、「広報ようろう」9月号と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
清水由美子	小寺光信	早崎百合子	水谷久美子	岩永義仁	田中敏弘

議会だより編集  
特別委員会



「わたしの声」を待っています。  
役場ロビーに意見箱を設置しております

「わたしの声」  
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内  
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812  
メールアドレス: 14gikai@town.yoro.gifu.jp





### 総務民生委員会へ付託された議案

**養老町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

**問** 現在、町内に家庭的保育事業の対象施設は無いという説明だが、将来的にできた場合、連携施設の想定は。

**答** 法律上は連携施設として、幼稚園、認定こども園、保育所等を想定している。

**養老町火災予防条例の一部改正**

**問** 町内の特定小規模施設数と特定小規模施設用自動火災報知設備の設置数は。

**答** 町内には特定小規模福祉施設が2箇所ある。(おあしす養老・グループホーム別庄ホーム) 特定小規模施設用自動火災報知設備は2箇所に設置されている。(小倉家・ハウス希望島田ホーム)

**養老町特定非営利活動促進法施行条例の廃止**

**問** 対象の団体は。

**答** クローバー、ハウス希望、ヨロスト、夢サポート、いきいき高齢者サポートセンター、養老ユニオン住宅の6団体。

**令和元年度一般会計補正予算**

**問** 西小倉集会所の建設費の総額と、コミュニティ助成事業の負担割合は。

**答** 総額は3108万3066円であり、補助率は、補助対象経費の5分の3で、助成金は上限の1500万円。

**問** 町からの補助は。

**答** 青少年集会所施設整備事業補助金210万円と、高度処理型合併処理浄化槽設置整備事業補助金109万2000円を予定している。

**平成30年度上水道事業会計決算の認定**

**問** 漏水の発生件数と減免額は。

**答** 30年度の発生件数は56件で、減免水量7456㎡に単価145円をかけたもの。なお、29年度は52件で、減免水量2807㎡であった。30年度にかけて増えた要因としては笠郷小学校と東部中学校に漏水があったため。

**有収率が改善した要因は。**

**答** 日頃の検針員の通報が主な情報源となっている。その他としては、町の漏水調査や住民からの情報提供を地道に処理していたところ80%を超えた。

### 産業建設委員会へ付託された議案

**令和元年度一般会計補正予算**

**問** 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民参加の方針は。

**答** 本事業は12月から3月までに行う予定であり、また、今回植える場所が登山口の上の大洞(おおぼら)林道であるため、参加者が安全を確保しながら記念植樹等可能かどうか検討している。

**問** 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、今後のビジョンは。

**答** 昨年計画を策定し、今年度は養老の滝を中心に北西側を実施する。来年度は直江の滝付近を実施する計画を予定している。

**問** 養老桜・紅葉の山プロジェクトについて、町民への参加要請は。

**答** 町民の方には安全な形で参加してもらえらるならば、ぜひ参加してもらいたい。どの団体にも声を掛けをするか、今後検討していきたい。



令和元年5月 臨時会

### こんなことがきました 審議した議案と その結果

議案	結果
養老町法定外公共物管理条例等の一部を改正する条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町簡易水道事業給水条例の一部改正	全員賛成で可決
その他	
南濃衛生施設利用事務組合議会議員の選挙	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町税条例等の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町国民健康保険税条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(養老町介護保険条例の一部改正)	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町公共下水道事業特別会計の繰入の変更)	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町一般会計補正予算(第8号))	全員賛成で承認
専決処分の承認(平成30年度養老町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号))	全員賛成で承認
人事同意	
監査委員の選任同意 田中 敏弘	全員賛成で可決
固定資産評価員の選任同意 大倉 修	全員賛成で可決

令和元年6月 定例会

### こんなことがきました 審議した議案と その結果

議案	結果
養老町手数料条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町火災予防条例の一部改正	全員賛成で可決
養老町特定非営利活動促進法施行条例の廃止	全員賛成で可決
予算	
令和元年度養老町一般会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
令和元年度養老町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
その他	
西南濃粗大廃棄物処理組合規約の変更に関する協議	全員賛成で可決
平成30年度養老町上水道事業会計決算の認定	全員賛成で認定
議員発議	
議員の派遣 全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員研修1年目議員のために」 小寺 光信、清水由美子、西脇 康	全員賛成で可決
議員の派遣 全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員特別セミナー」 野村 永一	全員賛成で可決

# 総合計画は

## 町長 地域協働を意識した対応



◆小寺 光信 議員

問 当町では、行政の計画の中心的役割を果たす総合計画を策定している。

答 第四次総合計画と第五次総合計画の基本構想の相違は。

問 第四次総合計画と第五次総合計画の基本構想の相違は。

答 第四次総合計画の基本構想では、「新世紀にふさわしい力、輝き」をまちづくりの理念とし「人が織りなす輝くまち養老」に対して、第五次総合計画の基本構想では「みんなで力を合わせる絆のまちづくり」を基本理念とし、「誇りと愛着が持てる絆を大切にすまち養老」を掲げた。特に「地域協働」を意識したもので、後期基本計画では、この理念を生かして「誇りと愛着による絆のまちづくり」「住民との協働によるまちづくり」をより明確

にした。計画的にまちづくりを進めていくために不可欠なツールとして、現在「(仮称)養老町まちづくりビジョン」の策定に着手している。



絆プラン冊子

# 後期基本計画は

## 町長 協働の考え方で対応

問 後期基本計画の「計画の推進力」と重点プログラム2の「地域自治町民会議の設立と協働の推進」は、重要施策である。

問 現在の進捗状況は？

答 人口減少、少子高齢化が進む中で、町民と行政が目標や課題を共有し、共に取り組む「協働」という考え方や姿勢を重要視して、養老町の条例「地域自治町民会議と養老町との協働に関する条例」に沿って、住民自治を高め、協働のまちづくりを進める担い手である地域自治町民会議の設立を推進する。これまでに、上多度、笠郷、広幡の3地区で設立された。

新たに庁舎内に推進チームを起ち上げ、今後、推進チームを中心に、地域協働の推進、住民自治の充実・強化を図る為、地域自治町民会議の設立を進め、来たる人口減少・少子高齢化社会に対応する。

ほかに「大型予算事業について」と「道路網について」の質問もしました。

# 地球温暖化対策推進は

## 町長 実行計画策定し取り組み中

問 地球温暖化は世界的課題であり、解決に向けて積極的に取り組む必要がある。

答 庁舎内での取り組み状況と実績は。

問 LED照明化の促進、正午休憩中は一階来客スペース以外の消灯、クールビズ・ウォームビズの推進、電子化管理の促進、水曜日のノー残業デーの促進等を実施している。

問 施設の新築時等における配慮、取り組みは。

問 上多度プラザ及び建設中の養北こども園では、外壁面や屋根に高断熱材、外断熱工法、通気工法を採用。空調では全てグリーン購入法に対応した機種選定を行うと共に日射遮蔽の効果があがる底の採用、空調負荷の低減を図っている。両施設は「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に適合している。

問 職員対策推進担当者の設置は。

答 現在、担当職員を配置し取り組み組んでおり、今後は名称を推進担当者として定める。



温暖化防止を考慮した上多度プラザ

# 所有者不明土地対応策は

## 町長 国の動向を注視していく

土地利用ニーズの低下や、土地所有意識の希薄化等により、所有者不明土地が全国的に増加している。

問 養老町内、所有者不明土地の現状は。

答 課税対象となるものは、22件、56筆、17701.40㎡。

地目別		
宅地	5990.28	㎡
雑種地	254.30	㎡
田	8715	㎡
畑	1969.91	㎡
山林	266	㎡
原野	64	㎡
池沼	442	㎡

問 町に売買・耕作や管理依頼・寄附等申し入れがあった場合の対応策は。

答 相続が確定しない物件については、相続人を調査し、遺言など分割協議に応じた持ち分で用地買収している。農地に関する耕作や管理依頼があった場合、申し出に基づき、必要な手続きを行っていく。寄附については、町が必要な物件以外は受け付けていない。なお、国では2020年頃に相続登記の義務化など、法改正や活用が見込まれない土地の受け皿を育成するモデル事業を検討しているという情報があり、その動向に注視していく。

# 子育て世代の応援を

## 町長 町単独拡充は考えない



◆水谷久美子 議員

国は、10月から「幼児教育・保育の無償化」を掲げるが、給食費は自己負担となり（副食費を含む）、完全無償化ではない。財源も逆進性の消費税に求め次年度からは、町立園は全額町の負担となる。

**問** 10月からの無償化は、国基準の算定額が予算措置されるため、町独自の軽減措置分が浮く。この予算で町単独の完全無償化を実現したい。

**答** 配慮が必要な世帯は、国の減免があり、これ以上の拡充は考えていない。国の方針に基づき副食代（おかず）を徴収する。

**問** 秋田県では低所得者層対策を6月議会補正で対応しているが、岐阜県の動向は。

**答** 園長・主任会を中心に事務量削減や会議の短縮等に取り組んでいる。

**答** 県に確認したところ、「現段階で示す内容はない」との回答。

**問** 保育士が働き続けられる環境整備や待遇改善を。



元気に遊ぶ子ども達

# 通学路ブロック塀補助要綱見直しを

## 町長 補助金を見直す考えはない

**問** 国は、この事業に交付率を国・地方・民間で三分の一ずつと改善させた。町の交付額は、国の改善を反映したものか。

**答** 標準的なブロック塀解体・フェンス建て替えとしてメートル当たり2万2500円の想定で上限額15万円とした。

**問** 申請に至らないのは、補助金額が実態にそぐわないことであり、再考を求める。

**答** 県内42市町村の内、32市町村がこの事業に補助金交付しており、メートル当たりも1万円以上上限額10万円が大半である。

**問** 災害避難路に面しているブロック塀の耐震診断は。

**答** 検討したい。

# 大型インフラの進捗状況は

## 町長 新食肉基幹市場は協議が進まず

町内で進行中の事業について進捗状況を問う。

**問** 新食肉基幹市場の進捗と場所は。

**答** 豚コレラが終息しないため協議が進まない。未だ候補地選定に至らず。

**問** 豚コレラへの対策は。

**答** 昨年12月に「食肉事業センターパイオセキユリテイ要件」を策定。

**問** 通称ジャンプ台の建設が再開すると聞いたが展望は。

**答** 橋爪大橋完成後の交通も考慮し、スマートICの利便性向上を図っていく。

**答** 優先されていた養老平田線の整備に目処がついたため、今後は大垣養老公園線の整備が進む見通し。

**問** (仮称)橋爪大橋の進捗と開通の時期は。

**答** 開通目標は公表されていないが早期完成に向け要望を行っている。

**問** 養老スマートICの周辺整備は。

**答** 橋爪大橋完成後の交通も考慮し、スマートICの利便性向上を図っていく。



通称ジャンプ台 (飯ノ木地内)

**問** ファシリテイマネジメントの進捗は。

**答** 将来的なコストカットのため個別施設計画を進めている。

# (続) 3セク会社の実態は

## 町長 まだ本格営業していない

最近の調査で、平成28年に視察した際に紹介された、3セク会社の事務所が現在には存在していない疑惑が判明した。

**問** あったはずの事務所が見当たらないが。

**答** 3セク会社がある民間施設内の別の場所に変わった。所在地に変更はない。

**問** 連絡を取ろうとしたが以前あったはずの電話がなくなっているが。

**答** 建物、電話共に民間施設と共有し使用している。

**問** 新年度の年間事業計画は。

**答** 民間施設の事業と並行して進めているので、近い将来全貌を報告すると思われている。

**問** 年間事業計画もないような3セク会社に町はなぜ出資しているのか。

**答** 会社の事業計画は定款に明記されていて変更はない。

**問** この会社は書類上だけの存在で、いわゆるペーパー会社ではないのか。

**答** まだ本格営業していない。

ほかに「バワハラ訴訟について」の質問もしました。

# 高校生世代の医療費無償化を

## 制度の現状維持

**町長** 制度の現状維持

近隣市町の実施状況、財政、医療費、住民サービスのバランスを総合的に判断し、子育て世代の負担を軽減する施策は重要である。

**問** 西濃地域の現状は。

**答** 自治体11市町の内、6市町が実施。

**問** 当町での今後の方向性は。

**答** 制度の現状維持を考えている。

**問** 検討すべき課題は。

**答** 行財政の効率化を図りつつ、町民が安心して生活できる制度作りを検討する。



◆早崎百合子 議員

# 五三川の釣り対策は

## 各団体一体で問題に取り組む

五三川のパス釣りは東海地区最大級の釣り場として年間10万人以上の釣り客があり、環境問題が発生している。

**問** 悪質な駐車やゴミ問題が発生し、地元が大変迷惑をしている。対策は。

**答** 警察署主導により「五三川周辺釣り客苦情対策会議」を開催した。対策の環境として、交差点等に注意喚起の看板等の設置を検討している。ゴミ対策としては、年5回の環境美化活動を実施、また釣り人主体の清掃活動も年々回実施。不法投棄対策としては町環境パトロール事業

で月2回の巡回監視をし、啓発を図っている。

**問** 地域、漁協、警察、行政との連携と今後の対策は。

**答** 対策会議を継続的に実施し、地元の要望に対処できるような地域、漁協、警察、行政が一体となり、取り組んでいく。



◆松永 民夫 議員

# 人口減少への明確な対応策は

## 住民目線で各種施策を

人口減少対策は地方創生に関する諸施策の中でも、積極的に取り組む必要性が指摘されている。経済・教育・生活環境等の総合的な施策展開が町の独自性の元で実施されるものと期待している。

**問** 人口減少対策の詳細は。

**答** 町外からの移住促進を目的とし、I・J・Uターン世代の住宅取得を支援する「若者定住マイホーム取得支援事業補助金」、次代を担う子を家族全員で大切に育てる事をねらいとした「二世世代ハッピースマイル事業補助金」、さらには「空き家利活用促進事業補助金」を創設した。

**答** 企業誘致、観光振興、教育の充実、地域自治町民会議の設立など、まちづくりの充実を図り、全町民が心豊かに幸福度の高い生活を安心して送ることができるよう努める。

**問** 各種施策を押し進めていくために、どのようなPR（啓発活動）を実施するのか。

**答** 広報「養老」や町ホームページに記載すると共に庁舎内での連携を図り、対象となる可能性がある方への通知・案内を実施していく。

**問** 町長が思い描く養老町の輝かしい未来像は。

旧池辺町民体育館は旧池辺小学校の体育館として使用され、移転後は町民体育館として利用されてきた。老朽化と耐震不足で平成27年4月閉鎖された。

**問** 閉鎖後の管理責任と、平成28年度予算で解体の設計予算が執行されているが、解体費用と予算の見直しは。また解体はいつか。

**答** 養老町スポーツ連盟へ年間業務委託をし、月2回の定期点検をしている。解体費用

は平成28年度の設計金額で1610万218円だが、解体年度に合わせ見直しは必要である。風水害による二次災害も懸念されるので、早急に解体を検討する。

**問** 旧池辺町民体育館の総面積と解体後の利活用は。

**答** 町有地総面積は2685.76㎡。地元の要望や町財政事情を総合的に勘案し、有効な活用方法を検討していく。

# 旧池辺町民体育館の解体は

## 早急に検討する



旧池辺町民体育館

# 土地改良の

## 基盤整備や統合を

町長

### 円滑に協議し支援する



◆大橋 三男 議員

現在の農業経営は、担い手や営農組合に委託している現状で、少子高齢化に向けて土地改良の大規模な整備や統合化が不可欠であると考えられる。

**問** 当町の整備計画の現状と行政の対応は。

**答** 大型圃場整備要望が3件（大巻・室原・大野）あり、協議会も設立されている地区もある。また改良区の統合は町内を4グループに分け、合併推進協議会にて統合に向けた協議が円滑に推進するよう支援し、協議会未設置地区では、統合の意義やメリットについて理解が得られるよう支援していく。



大区画整備（有尾地内）

**問** 圃場の流末である排水機も老朽化が見られるが、補強や統合の考えは。

**答** 排水条件が同一で立地状況を踏まえ、統合した場合と、単独更新との技術検討の結果を考慮した上で、整備方針を取りまとめていく。

## ふるさと納税返礼の再考を

町長

### サービス返礼を前向きに検討

**問** 当町の、ふるさと納税の実績状況は。また、種類と品でない返礼は。

**答** 平成29年度の実績は5327件、1億933万円である。当町の返礼品については62品で圧倒的に飛騨牛が多く、次いで富有柿、豚肉であった。品物でない返礼は宿泊券等、現在4品である。

**問** サービス提供の返礼として、都会に出て相続者のいない家や、高齢で施設に余儀なくされている状況下で、空き家や家周りの管理が放置されている家庭に、除草やお墓の清掃、花生け等の管理を返礼とすることは可能か。シルバー人材センター等に依頼すれば高齢者の人材活用にも貢献できると思われるが。

**答** 宿泊券などの個人が受けるサービスは、当町にきていただけないという事で二次的効果が期待でき、今後も様々な分野で増やしていきたい。また空き家対策とも連携でき、ふるさと納税の趣旨にも沿うものと考えられ、今後検討していく。

# レクリエーション協会

## 設立は

教育長

### 可能な限り設立を支援

レクリエーション協会は地域のレクリエーション運動の中核を担う組織である。子どもから高齢者まで幅広く、日常的に多種多様なレクリエーション活動を提供し、町民の心身の健康・生きがいづくりに貢献している。

**問** 県でのレクリエーション種目団体は。

**答** ペタンクやグラウンド・ゴルフ、フォークダンスや健康マージャンなど31の種目団体となる。

**問** 県下の市町村の協会数は。

**答** 大垣市や海津市、神戸町など、郡単位で不破郡と加茂郡の31団体38市町村となっている。

**問** 今から準備して設立月日は。

**答** 県レクリエーション協会は、設立の支援を今年度予定。町のグラウンド・ゴルフ協会等の団体が主体となり協会設立を推進した場合、町としても可能な限り支援していきたい。具体的なスケジュール等については協会との連携を図りながら進めたい。

## 町民プール周辺の河川敷を公園に

教育長

### 計画はなく現状では難しい



金草川河川敷

スポーツ施設の充実の本町においても重要な課題である。

**問** 大垣市には杭瀬川河川敷スポーツ施設、垂井町には相川スポーツ施設、海津市には長良川河川敷スポーツ施設がある。「スポーツマックス養老」付近の金草川の河川敷を利用しては。

**答** 河川敷を利用したスポーツ公園の建設は、計画位置上位置づけ

がなく、金草川河川敷の樹木の伐採・伐開が進んだ段階で、総合的に判断していきたい。

**問** 金草川の伐採・伐開の進捗状況は。

**答** 河川管理者である県へ要望しているが、河川敷内には、民地もあり難しい。

**問** 本年度スポーツ推進計画の中間計画の見直しがあるが。

**答** 「スポーツに関するアンケート」調査を無作為抽出により1500名に協力を依頼し、その結果を踏まえて、財政的負担も考慮しながら、今後の施設整備を検討していきたい。

# 豚コレラの対策は

## 町長 感染拡大防止対策を実行中



◆ 吉田 太郎 議員

豚コレラは岐阜・愛知を中心に被害が拡大し、終息の気配が感じられない。

**問** 5月22日石垣地区、31日勢地区、6月6日小倉地区で豚コレラ陽性の野生イノシシが確認された。陽性の野生イノシシ発見後の対応と経過は。

**答** 岐阜バスケットボール協会に回収依頼、猟友会へ協力を依頼した。町ホームページ上で注意喚起を行い、区長連絡協議会にも周知を依頼した。発見場所に消毒液や石灰の散布など防疫措置をし、ウィルス拡大防止に努めていく。

**問** 感染拡大を防ぐ防疫と今後の対策は。

**答** 県は野生イノシシへの経口ワクチンの散布計画に西濃地区も対象とし、山中の土中にワクチンを埋める散布は7月と8月、来年1月と2月に実施予定。町立食肉事業センターも感染や二次感染拡大防止のため、消毒を徹底して行っている。



豚コレラ感染野生イノシシ処理

# あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 91

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成30年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。



町では、国土交通省が発表した浸水想定（揖斐川、牧田川、

こうなりました

## 「防災対策の取組みは」

### 防災意識向上へ繋げる

杭瀬川の3河川で、最大規模2日間降雨量(667mm)に基づき、新たに「養老町洪水ハザードマップ」を作成しました。  
※令和元年5月全戸配布済  
それにもない、各地域において避難ワークショップや防災講習を出前講座などにより開催し、町民の防災意識向上に努めております。

## 防災講習会等の開催実績 (平成30年度～)

開催地区等	開催日	内容
養老地区	平成30年7月2日	意見交換会
五日市区	平成30年9月30日	出前講座
上多度地域自治町民会議	平成31年1月19日	防災講演会
池辺地区	平成31年1月20日	防災教室
笠郷地域創生自治町民会議	平成31年1月20日	防災教室
烏江区	令和元年5月5日	出前講座
上多度地域自治町民会議	令和元年6月8日	土砂災害防災訓練
養老町生活学校第2班	令和元年6月20日	出前講座
広幡地域自治町民会議	令和元年7月6日	防災講習
広幡地域自治町民会議	令和元年8月17日(予定)	防災訓練

# 議会に対しての意見

シリーズ 29

## ■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

なので、まず人口減少を食い止めることから始めます。もともと養老町は、自然環境や気候においても住みやすく、また、観光資源に恵まれていて嫌う人などいません。ですから更に養老町の魅力を発見し、付加価値の高い商品開発をするなど、所得向上に注力してほしいかがでしょうか。

（町内在住 T・Hさん）  
人口減少、町の衰退、若者離れなど、今やどの田舎でも叫ばれているこの問題、私たちの養老町でも例外ではありません。  
何もしなければ衰退の途をたどり、財政破綻を来すのは目の前にみえています。この状態から脱出するには、町を活性化させねばなりません。では、どうすれば良いでしょうか。  
人口増加に繋がる努力をすること、これはその一つでしょう。  
親日外国人を迎え入れるという選択肢もあります。しかしこれは時期尚早でしょう。

